Wacom Chapter 2
ワコム第２章と事業戦略

大和インベスター・リレーションズ
個人投資家様向け会社説明会 in 名古屋

株式会社ワコム (東証1部：コード 6727)

2019年11月30日 (土)

for a creative world ™

wacom®

人間とコンピューターとの間に「調和」を創出する

All Rights Reserved. Copyright © 2019 Wacom Co., Ltd.

35年以上

デジタル・ペンとインクに取り組んできました

1987
世界初コードレス
ペンタブレット

1988
ペン付き電話

1998
プロのクリエイター仕様
初代ペンタブレット

All Rights Reserved. Copyright © 2019 Wacom Co., Ltd.

主な事業区分

ブランド製品事業

- **クリエイティブ ビジネス（クリエイティブユーザー向け）**
  製品ライン: ペンタブレット、ディスプレイ、モバイル
- **ビジネスソリューション（法人向け）**
  製品ライン: 電子サインタブレット、液晶ペンタブレット他

テクノロジーソリューション事業

- **スマホ・PC・デジタル文具パートナー向け技術ソリューション**
  製品ライン：デジタルペン センサーシステム 他

インク・
ディビジョン（部門）

- **デジタルインク、**
  ソフトウェア
  ソリューション等

製品ライン:
デジタル文具
(コンシューマ
向け)他

All Rights Reserved. Copyright © 2019 Wacom Co., Ltd.

クリエイティブ ビジネス　<製品例>

wacom
Cintiq Pro, Cintiq

<ディスプレイ製品>

wacom
MobileStudio Pro

<モバイル製品>

wacom
Intuos Pro, Intuos

<ペンタブレット製品>

All Rights Reserved. Copyright © 2019 Wacom Co., Ltd.

ペンタブレットとは、デジタルペン(筆)とタブレット(画版) により構成されるPC入力機器

クリエイティブ ユーザー向け用途事例

ワコムのデジタルペン技術は、映画制作や自動車の工業デザインなどのスタジオで働くクリエイターを支えています。

(事例)

- 米国ハリウッドを中心に、「スターウォーズ」など**コンピューターグラフィックス(CG)を使った映画制作**のスタジオで、デジタルペンが活用されています。
- 米国ディズニーなど国内外の**アニメーション制作**のスタジオで、描画・色づけなどにデジタルペンが活用されています。
- **ゲームソフト制作**の場でリアルな造形を描写するためにデジタルペンが活用されています。
- 自動車メーカーでの自動車デザインなどの**工業デザイン**にもデジタルペンが活用されています。

wacom Intuos Pro

wacom Cintiq Pro

wacom MobileStudio Pro

All Rights Reserved. Copyright © 2019 Wacom Co., Ltd.

デジタルインク対応製品（コンシューマ向け）

Windows

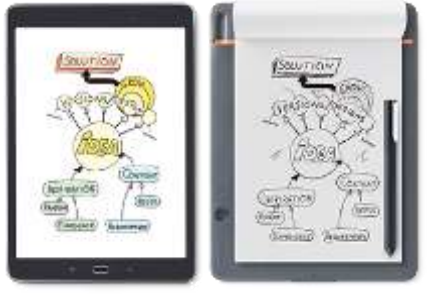
BAMBOO™ Ink

MAKING IDEAS

Inkspace,
Bamboo Paper Apps

WILL Wacom Ink Layer Language

BAMBOO™ Slate

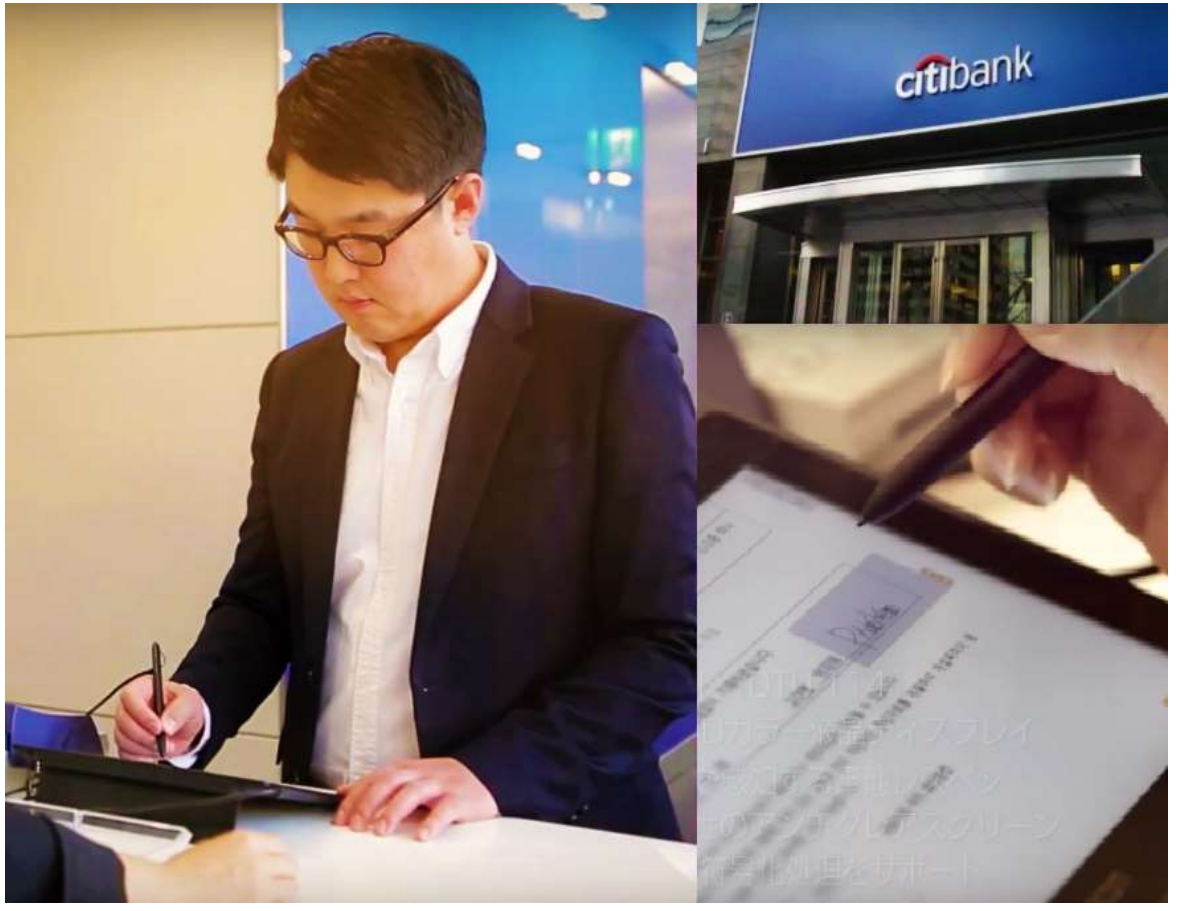


BAMBOO™ Folio

All Rights Reserved. Copyright © 2019 Wacom Co., Ltd.

ビジネスソリューション（法人向け）

電子サインシステム



銀行口座開設 電子サイン端末（シティバンク）

クレジットカード決済 電子サイン端末
ららぽーと（三井不動産商業マネジメント）

ワコム クリップボード

液晶サインタブレット

All Rights Reserved. Copyright © 2019 Wacom Co., Ltd.

テクノロジーソリューション（部品・技術提供）

デジタルペン採用機種例

Windows

ウインドウズOS対応 タブレット、ノートPC等

android　chrome

アンドロイドOS対応 スマートフォン、タブレット等

Lenovo　hp　DELL

SAMSUNG

Galaxy Note series

chromebook　Pixelbook

FUJITSU　TOSHIBA　VAIO

STAEDTLER

MONT BLANC

LAMY

BiC

All Rights Reserved. Copyright © 2019 Wacom Co., Ltd.

お客様へ最高のデジタルペン体験を

ワコムは、 2018年4月から
「**テクノロジー・カンパニー**」
として新しい一歩を踏み出しました。

Wacom “***Chapter 2***”

All Rights Reserved. Copyright © 2019 Wacom Co., Ltd.

「***Life-long Ink***」

ユーザーの方と共に、
終わりなき創造の旅に出る。

All Rights Reserved. Copyright © 2019 Wacom Co., Ltd.

デジタルインク、無限の可能性

「誰が、どこで、いつ、どんな気持ちで
これを書いた・描いたのか」

-人間の「***文脈と軌跡***」を捉える-

All Rights Reserved. Copyright © 2019 Wacom Co., Ltd.

３つの全社戦略

- テクノロジー・リーダーシップ
  - お客様との対話を通じて **技術革新** を提供する
- 島(アイランド)と海(オーシャン)のビジネス
  - 異なる使命の２つの事業を **緊密に連携** させて成長させる
- 大胆な選択と集中(エクストリーム フォーカス)
  - 全ての事業領域、オペレーションで **大胆に実施** する

All Rights Reserved. Copyright © 2019 Wacom Co., Ltd.

第2四半期連結決算概況のご説明
2020年3月期 (第37期)

開示日: 2019年10月31日

for a creative world ™

第2四半期 (2019年4月-9月期) 連結決算概況

- 連結売上高　**469億円** (前年同期比　1%増)
- 連結営業利益　**30億円** (前年同期比 10%増)
- 連結当期純利益　**22億円** (前年同期比 12%増)

- 第2四半期は、7-9月期で過去最高となる売上高 (298億円)、営業利益 (33億円)、当期純利益 (23億円) を記録
- テクノロジーソリューション事業のスマートフォン向け増収、販管費の最適化 (第2四半期で過去最低の販管費率 26%) などが第2四半期連結決算での増収増益に貢献

All Rights Reserved. Copyright © 2019 Wacom Co., Ltd.

（注）当期純利益は「親会社株主に帰属する当期純利益」に相当

第2四半期 (2019年4-9月期) 事業セグメント概況 - 1

ブランド製品事業

- 売上高　**193億円** (前年同期比 6%減)
- セグメント損失　**2億円** (前年同期 セグメント利益 5億円*)

- ディスプレイ製品のエントリーモデルは販売好調。一方で、ペンタブレット製品他の製品ラインの売上減少により小幅に減収
- 米国の対中追加関税の直接的な課税影響 (約-4億円) や為替相場の円高影響 (約-4億円) 等によりセグメント損失計上

All Rights Reserved. Copyright © 2019 Wacom Co., Ltd.

*管理部門等の費用(調整額)の配賦方針変更を適用した実績 (スライド#33参照)

第2四半期 (2019年4-9月期) 事業セグメント概況 - 2

テクノロジーソリューション事業

- 売上高　　**276億円** (前年同期比　8%増)
- セグメント利益 **51億円** (前年同期比 12%増*)

➢ スマートフォンの最新モデル向け需要の10-12月期から7-9月期への早期化、およびタブレット・ノートPC向けにおいての特定プロジェクト等により増収増益

All Rights Reserved. Copyright © 2019 Wacom Co., Ltd.

*管理部門等の費用(調整額)の配賦方針変更を適用した実績との比較 (スライド#33参照)

2020年3月期（第37期）これまでの歩み

for a creative world ™

wacom®

wacom®

Cintiq 22

“創りたい”のそばに

ディスプレイ製品エントリーモデルに新ラインアップ追加

“Wacom Cintiq 22”

- 大型液晶ペンタブレットにチャレンジしたいユーザー層に訴求　2019. 7

NTTドコモ 5Gプレサービス発表会 **“5G OPEN DAY”**

- 5Gオープンパートナーシッププログラムメンバーとしてプレゼン 2019. 9

“THU (Trojan Horse was a Unicorn)” in Malta
(欧州最大級のデジタルアートイベント）2019. 9

Comic Con New York 2019. 10

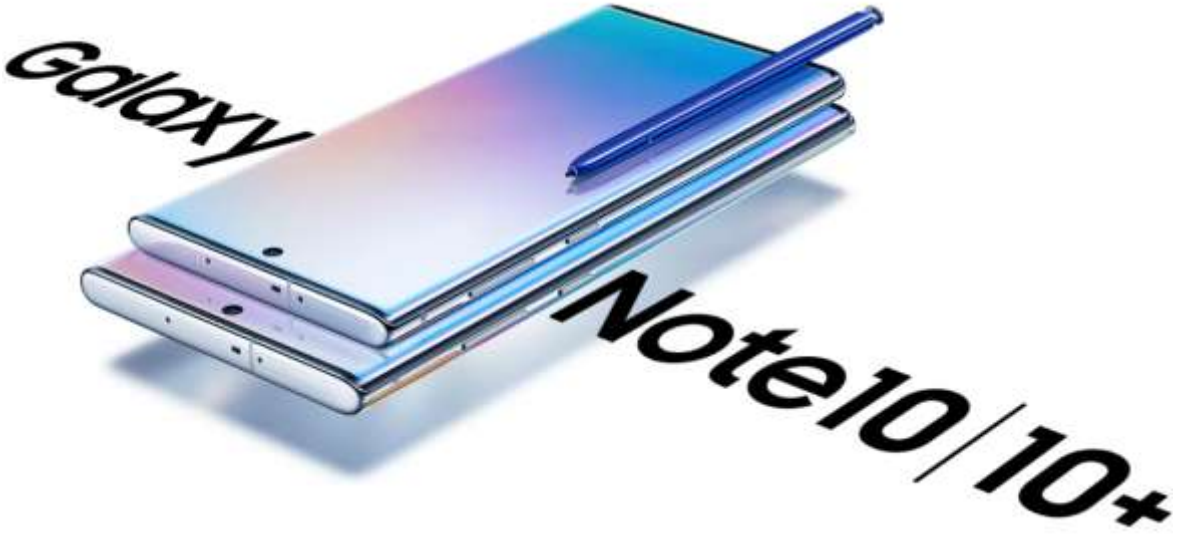
Unhide 2019. 9 (ブラジル最大のデジタルアートイベント)

欧米最大級のクリエイティブイベントに出展

- 商戦期に向けたマーケティング展開 2019. 9-10

nt © 2019 Wacom Co., Ltd.

最新スマートフォン
Galaxy Note10, 10+向け
ペンセンサーシステム



サムスン社の最新ハイエンド スマートフォン
“Galaxy Note10, 10+” 発表　2019. 8

- **新Sペン**は継ぎ目無しデザイン採用、簡単なジェスチャーでスマホの操作が可能

「教育向けアプリ」開発コンテスト **“Inkathon”** を開催

- 「EdTech（エドテック）の進化をデジタルインクで加速しよう」をテーマとしたコンテストを11月4日東京で開催

Inkathon Webサイト https://inkathon.bemyapp.com/

“Connected Ink” イベントを実施

- パートナー/お客様と共に、新しい「デジタルインク&デジタル文具」市場を創出

ワコムが考える **“社会への取り組み”** のウェブページ開設

- ESG (環境・社会・ガバナンス) ” 開示要請に対応　2019. 10

2020年3月期 (第37期) 連結決算予想の主なガイダンス

- 連結売上高　**940億円** (前期比　5％増)
- 連結営業利益　**52億円** (前期比 25％増)
- 連結当期純利益　**32億円** (前期比 17％減)

- ブランド製品事業は、ディスプレイ製品を牽引役とした増収増益を見込む
- テクノロジーソリューション事業は、主にタブレット・ノートPC向けの増収、セグメント利益では積極的な研究開発投資等により前期並みを見込む
- 当期純利益は、前期 (19年3月期) での税金費用減少による利益増加を受けた減少を見込む

（注）当期純利益は「親会社株主に帰属する当期純利益」に相当

All Rights Reserved. Copyright © 2019 Wacom Co., Ltd.

2020年3月期 (第37期) 株主還元策

利益分配の基本方針

- 将来の事業展開と財務体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当の継続と機動的な自己株式の取得を基本方針とする
- 適正な財務の健全性確保を念頭に、配当性向の目安を30％程度としたうえで、１株当たり配当の中長期的な増加を通じた利益還元に努める

１株当たり配当金予想

- **期末配当金　6.50円**（前期実績　6.00円）
- **配当性向　　33.0％**（同　　25.3%）

（自己資本比率 実績推移: 2019年3月期 49%、2018年3月期 45%、2017年3月期 42%）

All Rights Reserved. Copyright © 2019 Wacom Co., Ltd.

2022年3月期(第39期)での経営指標の目標

(2018年5月11日付発表)

規模:　　連結売上高　　**1,000億円**

収益性:　連結営業利益率　　**10%**

資本効率: 株主資本利益率(ROE)　**15～20%**

重要取り組み事項:
顧客志向の技術革新、利益を重視した財務体質の確立
組織/オペレーションの改革、取締役会改編による経営の質向上

All Rights Reserved. Copyright © 2019 Wacom Co., Ltd.

for a creative world ™

ご清聴ありがとうございました。

All Rights Reserved. Copyright © 2019 Wacom Co., Ltd.

本資料のお取扱い上の注意点

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ経済や当社の関連する業界動向、新たな技術の進展などにより変動する事がありえます。従いまして、実際の業績などが本資料に記載されている将来の見通しに関する記述と異なるリスクや不確実性がありますことをご了承ください。

株式会社ワコム
インベスター・リレーションズ

〒160-6131 東京都新宿区西新宿8丁目17番1号 住友不動産新宿グランドタワー31階
TEL：03-5337-6502
http://investors.wacom.com/ja-jp/index.html

for a creative world ™

wacom®